

教育費をどう考えるか



高校までにかかる教育費

子どもの教育費は、実感として、年々増加しているような気がします。私立学校の月謝、塾代など、毎年上がっているようです。少子化の中、一人あたりの単価が上がっていくのは仕方がないのかもしれませんが、収入の増えにくい中、家庭における教育費負担は、重くなる一方です。幼稚園から高校までの教育費は、以下のようになります。学校教育費、給食費、学校外活動費を含んだ金額です。

	公立	私立
幼稚園(3年間)	688,872 円	1,623,678 円
小学校(6年間)	1,846,338 円	8,356,440 円
中学校(3年間)	1,441,443 円	3,708,777 円
高等学校(3年間)	1,548,553 円	2,942,553 円

文部科学省「子どもの学習費調査」(平成20年度)より

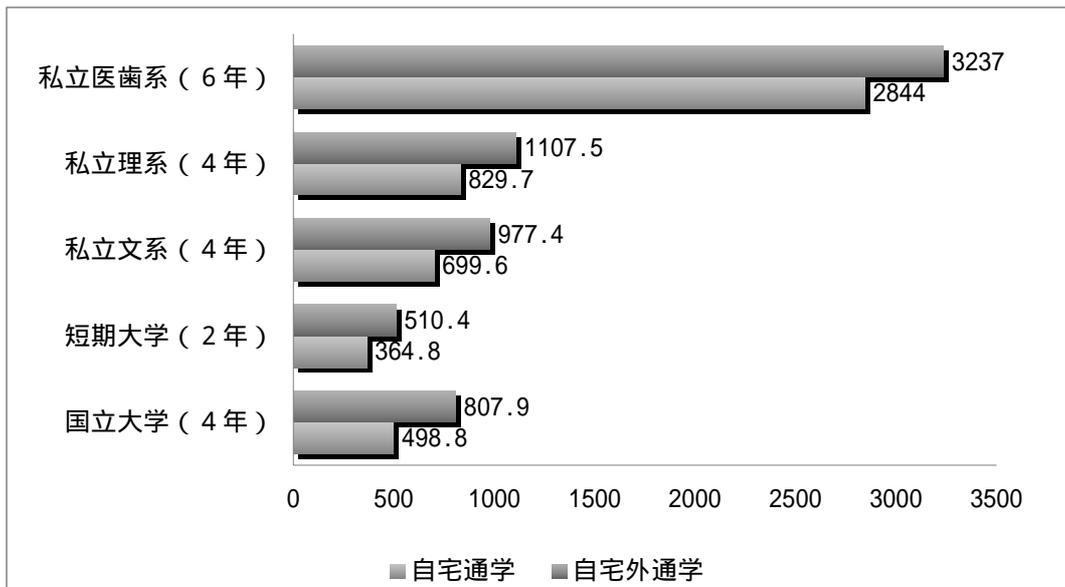
幼稚園から高校まですべてを公立に行ったとしたら約550万円、すべて私立に行ったとすれば約1660万円になります。平成22年4月より、公立高校の授業料無償化、国立と私立については、保護者の所得に応じて負担の軽減がはかられていますので、上記の金額より、少なくなっていることも考えられます。しかし、学習塾や進学塾に通わせる家庭も多く、実質の負担はさほど変わらないのではと思われます。文科省のデータでは、塾に一番多く行っているのは、公立中学校に通う生徒で、全体の7割に上っています。金額的には、中学受験を目指してということでしょうか、小学生が一番多く、平均年間約31万円。次に、公立の中学生で、約26万円となっています。

大学にかかる費用

小、中学校から私立の通うと継続的に教育費はかかりますが、一般的には、教育費のピークは、やはり、大学でしょう。国公立か私立か、自宅通学かそうでないかによっても大きく違ってきます。

日本は、私立大学が全体の82%を占めており、平均の授業料の年額は83万4000円と、大学ではまとまったお金が必要なことは避けられないようです(文部科学省「教育指標の国際比較」平成23年度版より)。学校教育の公私負担の割合も公財政32.5%、私費67.5%、家計負担51.1%となっています。福祉国家で名高いデンマークやフィンランドが96%公財政で賄われているのに比べるとずいぶん差があります。日本の家庭負担は非常に大きくなっています(2011年度版)。アメリカの私立大学の学費が高いことは知られていますが、私立の割合は20%に過ぎず、手厚い奨学金制度が完備されています。今後、日本もデンマークやフィンランド、欧州諸国のように国の財政負担を拡充したり、返済不要な奨学金を増やして欲しいものです。では、実際に大学の費用はどのくらいかかるのでしょうか。

大学にかかる教育費(万円)



セールス手帖社会保険 FPS 研究所「ライフプランデータ」(2011年度版)を参考に著者が作成

高校までの費用は、月額で納めるので、月々の収入から賄うことができます。しかし、大学の費用は、1年分、あるいは半年ごとに納めますので、基本的には、大学受験のシーズンまでに、これらのお金を準備しておく必要があります。

受験費用は、私立だと1校当たり3万円前後かかりますし、いわゆる赤本、青本、センター試験用といった過去問題集も一冊あたり1000円～3000円します。地方からの受験の場合は、交通費や宿泊代も必要です。予備校や塾の費用まで考慮すると、高校3年生になるまでに、大学の入学金、授業料等とは別に、もう50万～100万円程度余計に必要になるでしょう。また大学進学後、一人暮らしの予定があれば、敷金礼金、家財道具一式の費用などさらに数十万が必要になります。それから、パソコン、プリンター等は必需品として購入が義務付けられる学校がほとんどのようです。履修登録等は、インターネットで行うのが当たり前になっています。授業料の他に、教育充実費やその他会費等、また寄付金(任意)が必要な学校が多いようです。今回は、大きな支出となる教育費をどう準備していくのか考えていきます。

著者プロフィール

岩城 みずほ 氏

オフィスベネフィット代表。CFPR DCプランナー

慶應義塾大学卒。NHK松山放送局を経て、フリーアナウンサーとして14年活動。

報道番組、パブリシティ番組、選挙特番などの他、BS、ラジオ、各種司会、リポーターを務める。

その後、金融機関の企業研修講師を経て、2009年にFP資格を取得。得意分野は保険と資産運用。

コンサルティング、セミナー講師、執筆、司会などを行っている。

オフィスベネフィット <http://www.officebenefit.com/>

ほけんぺでいあ <http://www.hokenpedia.com/>

somerise project japan <http://somerise.net/>

火曜ブログ 「わたしのほけんABC」 金曜ブログ「わたしの資産形成ABC」

今後のメルマガをより良い物とするために下記のページより皆様のお声をお聞かせ下さい。

<http://www.nichizei.com/fp-enquete.html>

メルマガ執筆者募集のお知らせ

税理士FP 実務研究会事務局では、FP 実務に関する様々なテーマでメルマガの執筆をしていただける方を募集中です。分野・テーマ等は自由です。最近の相談事例や得意分野など、ぜひ寄稿ください。執筆を希望される方は、税理士FP 実務研究会事務局【(株)日税ビジネスサービス 総合企画部】までご連絡ください。TEL 03-3340-4488